画像符号化シンポジウム・映像メディア処理シンポジウム講演予稿の書き方

How to Prepare a Camera-Ready Paper for Picture Coding Symposium of Japan and Image Media Processing Symposium

|  |  |
| --- | --- |
| 和文著者1† | 和文著者2‡ |
| Author 1† | Author 2‡ |

|  |  |
| --- | --- |
| PCSJ/IMPS 実行委員会† | 和文所属2‡ |
| PCSJ/IMPS Organizing Committee† | Affiliation 2‡ |

**Abstract**: 内容を300字程度で記述します。内容を300字程度で記述します。内容を300字程度で記述します。内容を300字程度で記述します。内容を300字程度で記述します。内容を300字程度で記述します。内容を300字程度で記述します。内容を300字程度で記述します。内容を300字程度で記述します。内容を300字程度で記述します。内容を300字程度で記述します。内容を300字程度で記述します。内容を300字程度で記述します。内容を300字程度で記述します。内容を300字程度で記述します。内容を300字程度で記述します。内容を300字程度で記述します。内容を300字程度で記述します。内容を300字程度で記述します。

1. はじめに

講演予稿集は、USBおよび印刷物(白黒)により出版致します。提出は、PDFファイルを指定サイトへアップロードいただきます。

特別講演はフォーマット自由、ページ制限無し(8ページ程度以内)。予稿集では顔写真と略歴を先頭ページに記載します。

本サンプルは一般講演の説明になります。

1. 分量、原稿サイズ
   * 1件2ページ以内(図表を含む)
   * A4サイズ
   * 幅180mm
   * 高さ252mm
   * 段間の幅8mm程度(二段組の場合)

としてください。

1. 配置
   * 表題、著者名、勤務先は、本サンプルに従ってそれぞれ記入して下さい。
   * アブストラクト(和文の場合300字程度、英文の場合100語程度)をお入れ下さい。
   * 本文は一段または左右二段に書いても差し支えありません。
   * 用紙最終頁右下に、発表者連絡先をお入れ下さい。
2. 文字サイズ

文字サイズは、本サンプルを目安にしてください。

表題 16ポイント

和文著者名 14ポイント

英文著者名 12ポイント

所属および本文 10ポイント

程度です。

表1: 符号化器の設定

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 設定ア | aa | aaa |
| 設定イ | bb | bbb |
| 設定ウ | cc | ccc |

図1: 符号化実験結果

1. 図表

予稿集は白黒・網がけ印刷になります。見にくくならないよう、作成の際にはご注意ください。

図表の出力位置は、ページの天か地に置くことを基本にします。本サンプルのように枠線なしテキストボックスの使用が便利です。図表内は英文でも和文でも結構です。参照は**、**のようにしてください。

1. PDFファイル化

PDF作成時はすべてのフォントを埋め込むように設定して下さい。AcrobatやWeb上のフリーのツール等で構いませんので、必ずフォント埋め込みを確認して下さい。

1. その他

原則として半角に存在する文字については全角を使わないようにします(e.g., “（ＡＢＣ１２３）”は“(ABC123)のように)。

数字のマイナス符号(−)、pp. 10­–20のような範囲を示すen dash(–)等の使い分けにご注意ください[4]。

1. おわりに

平成19年3月2日 初版

平成26年5月23日 更新

平成27年7月15日 更新

参考文献

1. X. Wu *et al.*: “Context-based, adaptive, lossless image codec,” IEEE Trans. Commun., vol. 45, pp. 437–444, Apr. 1997 2212
2. 小林正朋: “Wordで論文”, http://www-ui.is.s.u-tokyo. ac.jp/~kobayash/misc/writing\_with\_winword.html
3. 豊村和真: “Word Tips”, http://www.ipc.hokusei.ac.jp/ ~z00105/\_kamoku/excel/wordtips.htm
4. 石井康毅: “ハイフン・マイナス・ダッシュの使い分けと入力方法”, http://www.ishi-i.net/2011/08/blog-post\_4664.html

*○○研究所 ××プロジェクト*

*〒222‒2222 ○○市××町1‒1‒1*

*Phone: 000‒111‒2222, Fax: 000‒111‒2223*

*E-mail: foo@example.jp*